

2019.5.3-4

FUJI

Round

02

final

## 恵みの雨で4位まで浮上したものの タイムロスで悔しい16位に終わる

Q1を突破することはできたものの、不調に終わった予選。12位からのスタートでポイント圏内は見えますが、上位入賞は厳しい状況です。しかし、スタート時刻の14時30分以前に降雨という天気予報。そうなればレースは大きく動く可能性があり、上位進出が現実になるかもしれません。

果たしてスターティンググリッドにマシンが並ぶと、雨が降りはじめました。その結果、スタートはセーフティカースタートとなりましたが、しかしまだ雨は小降りでした。

阪口晴南選手がスタートを担当、3周目にグリーンフラッグとなり、レースが始まりました。と同時に、少しずつ雨量が増えていきます。そして雨の量が増えるとともに、96号車のペースはライバルたちよりも速くなっていきます。8周目に10位、10周目に8位、12周目には6位まで上がりますが、ここで赤旗中断となります。

そして再スタート後、雨は弱まりましたが、それでも着実に順位を上げ、31周目にはついに4位へと上がります。表彰台は、すぐ目の前にありました。





34周目に1度目のピットインし、新田守男選手へと交代。しかしタイヤ交換で、左フロントのホイールがロックせず、大きくタイムロスし、コースに復帰した時は23位にまで順位を落としてしまいました。しかも、この時に交換したのはレインタイヤだったので、雨は完全に上がってしまい、次第にコースは乾いてスリックタイヤが必要になりました。

そこで40周目、タイムロスを覚悟でスリックへ交換するために2度目のピットイン。トップからは周回遅れ、約2分40秒ほどのギャップができてしまいました。

その後、2人のドライバーはトップと同等以上のタイムで周回。新田守男選手はファステストラップを記録します。しかし、大きなギャップを挽回できず、16位という結果になりました。

しかし苦手と思われた富士スピードウェイでも、戦えるレースペースが可能なのは大きな朗報。結果そのものは厳しいものの、得意なコースである次戦の鈴鹿への期待が膨らむレースとなりました。



## 2019 AUTOBACS SUPER GT Round2 FUJI GT 500km RACE

富士スピードウェイ

2019年5月4日 天候：雨／曇り 路面：Wet／Dry

### final

Po	No	Machine	Driver	Laps	Best Lap	Diff.(sec)	Tire	WH
1	11	GAINAR TANAX GT-R NISSAN GT-R NISMO GT3 / VR38DETT	平中 克幸 山田 裕信	104	1'38.774	3:42'18.078	DL	
2	55	ARTA NSX GT3 Honda NSX GT3 / JNC1	高木 真一 福住 仁嶺	104	1'38.726	0.239	BS	17
3	88	マネバランボルギーニGT3 Lamborghini HURACAN GT3 / DFJ	小暮 卓史 元嶋 祐弥	104	1'38.962	4.376	YH	1
4	56	リアライズ 日産自動車大学校 GT-R NISSAN GT-R NISMO GT3 / VR38DETT	平峰 一貴 サッシャ・フェネストラス	104	1'38.736	6.907	YH	6
16	96	K-tunes RC F GT3 LEXUS RC F GT3 / 2UR-GSE	新田 守男 阪口 晴南	102	1'38.470	2 LAP	BS	20

ファステストラップ：1'38.470 No.96 K-tunes RC F GT3/新田 守男

## 監督・選手コメント



Team Director  
影山正彦

©GTA

とても悔しいレースでした。ピット作業もそうだし、タイヤ選択もミスをしてしまい、反省すべき点が多かったです。レースペースが良かっただけに、余計に残念ですが、次戦で必ずリベンジします。



Driver  
新田守男

©GTA

スタートで雨が振ってボク達にいい展開だと思っていたんですが、ピットとタイヤ選択で大きなミスになってしまいました。こういう状況下での経験値が足りなかったのか、反省して次へ向かいます。



K-tunes Racing についてのお問い合わせは  
yushi\_kamimoto@okay-toyopet.jp 070-7561-1454